

## 令和6年度 第3回十和田市外部評価委員会(会議録)

日 時:令和6年 10 月9日(水)午後1時 15 分～午後2時 15 分

場 所:十和田市役所 本館3階 庁議室

出席者:十和田市外部評価委員会委員 11 名

岡野委員長、升澤委員、中沢委員、平舘委員、斗澤委員、櫻田委員、

石村(明)委員、石村(彰)委員、泉谷委員、舘花委員、上野委員

【欠席】 原委員

### 【①とわだ産品の情報発信】

委員	<p>以前は、商店(飲食店)と、とわだ産品販売戦略課との一体感、産品(野菜)に対して、いろいろな事業に取り組む一体感があったと感じています。現状としていろいろ取り組んでいるが、商店側(飲食店)と産品との顔が見えて来ないと感じています。</p> <p>地元の商店(飲食店)との一体感がもっとあれば、底上げというような機運が高まるのではないのでしょうか。それも一つの方法として、十和田市の産品を向上させるのではないかと感じています。</p>
委員長	<p>SNS等を通じて全国発信の形で取組をしていますが、地元の方たちにも理解をしていただくというところが、一体感や認知度を高めるためにも必要だというご意見かと思います。</p> <p>情報発信の重要性は全員が認識していることですが、近くの部分も含めてアピールすることが良いということだと思います。</p>
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

### 【②放課後児童クラブ(仲よし会)】

委員長	事務局の説明にもありましたように、最後の部分で委員の方からの質問がありましたので、ご意見等をいただく前に、回答をいただければと思いますので、よろしくお願いします。
担当課	<p>【質問】</p> <p>市として、学童保育にいる発達障がいの子どもたちをどのように育てていくのか、回答していただきたい。</p> <p>【回答】</p> <p>発達障がいによって特別支援学級に在籍している児童は、個別支援計画に基づく放課後デイサービス等を利用していると認識しております。</p> <p>仲よし会におきまして、発達障がいを持つ児童が健常児と共に集団生活をする中で、成長発達を促進するという効果も期待されますが、一方で、支援の負担や仲よし会の運営への影響なども考えられることから、現状を把握したうえで、他市の取組等も参考にしながら発達障がい児への対応及び支援策について検討してまいりたいと考えております。</p>

委員	<p>この問題は、今に始まったことではなく、10年、20年前から続いていることです。現場では、専門の支援員ではなく、1年生は全員預かっているため、どのような子どもがいるか分からない部分もあります。こちらとしては、特性の有無に関わらず、同じように関わっていくと決めており、預かるだけではなくて、保護者と一緒に育てていこうという気持ちで過ごしています。</p> <p>特性がある子どもや、グレーゾーンの子どもの多くいる中で、どのように関わっていくかというのを学ぶために研修も実施しています。私たちの施設では、支援員の数は6人で良いところを、9人で対応しています。今後、どのようにしていくのかというのは、私たちだけの問題ではなく、市としての問題でもあると思っています。</p> <p>私たちも悩みながら事業をやっていて、困っていることについてよく聞かれますが、私たちよりも、子どもたちの方が困っていると思います。子どもだけでなく、保護者も困っています。市は指定管理者としてどのようにして子どもたちを育てていくのかという思いを確認したかったです。加えて、今後どのようなことを取り組んでいくのかお聞きしたいです。</p>
担当課	<p>発達障がいやグレーゾーン等の支援を要する子どもたちが増えていることについては教育委員会から聞いています。子どもたちの対応にあたって、専門的な知識を有する支援員の養成、現支援員の知識・技術の向上や学校との連携など、できることはあると認識しているため、検討させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>お願いになりますが、各支援員から現場の声をちゃんと聞いてほしいと思います。今後の取組の内容について考えることよりも、まずは現場の声、お願いを聞いてほしいです。</p>
★最終評価	<p>「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了</p>

【③就労継続支援】	
委員長	<p>事務局の説明にもありましたように、最後の部分に委員の方からの質問がありましたので、ご意見等をいただく前に、回答をいただければと思いますので、よろしくお願いします。</p>
担当課	<p>【質問】</p> <p>報酬改定によるA型及びB型就労事務所の経営状況への影響などは把握しているのか。</p> <p>【回答】</p> <p>市町村の障がい福祉サービスの役割そのものについて、障がいのある一人ひとりの能力に応じた社会生活を営むことができるよう、支給決定という形で支援を提供しています。その費用を国・県・市町村の財源を使いまして事業所へ負担しております。</p> <p>令和6年度報酬改定による就労系サービスの報酬体系の見直しについては承知しており、特に就労継続支援A型においては、基本報酬に影響するスコア方式中の生産活動項目（生産活動収支が賃金総額を上回った場合には加点、下回った場合には減点）のスコア配分が大きくなったこ</p>

	<p>とが要因で、収支バランスの悪い就労系サービス事業所等の基本報酬は下がることが想定されております。市内事業所におきましては、そのような事業所があるとは聞いておりません。</p> <p>就労系サービス事業所等の経営状況把握等の役割を指定権者である青森県が担っているため、当市で本業務の中で具体的に把握はしていませんが、障害福祉サービス事業所等から相談があった場合は、可能な限り対応してまいりたいと思います。また、イベント等があるごとに就労系事業所の説明ブース等も設置しており、ホームページにも就労系事業所の掲載もしていることから、引き続き継続してまいりたいと考えております。</p>
委員	<p>具体的には、特にA型が報酬改定によって十和田市内では影響はないということでしたが、県内全体で見ると廃止になっている事業者があります。今後、十和田市への影響がないとも言えないことから、情報収集等で事業所と連携していただき、早期の対応をしていただきたいと思います。</p>
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

#### 【④空き家等対策】

委員長	特に意見なしのため、事業評価集計表の内容を本委員会の評価結果とします。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

#### 【⑤広報紙等の充実】

委員長	特に意見なしのため、事業評価集計表の内容を本委員会の評価結果とします。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として終了

#### 【その他・提言等の紹介 事務事業評価全体を通しての評価】

委員長	5つの事業評価とは別に、委員の方から事務事業評価全体を通しての評価としてご意見をいただいておりますので、事務局から紹介をお願いします。
事務局	<p>委員の方より、事務事業評価全体に対するその他・提言がございましたので、紹介したいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の成果指標そのものについて妥当性評価または市役所内でのレビューなどはどのように行われているか。</li> <li>・事業により指標がひとつのものや、多角的に評価しているものなどもあるが、事業の目的に対して達成による有効性にバラつきがあると感じる。</li> <li>・その点のレビューを行ったうえで、内部評価まで行っていると思われるが、ひとつひとつの事業スケールが大きく、中長期的に成果が出るものもあるかと考えるため、単年度評価と中長期評価の対比や全体計画における現在地がわかるような事業評価を示していただけるとさらに充実した外部評価ができると考える。</li> </ul>

	その他・提言等については以上となります。
【その他】	
委員	<p>外部評価委員会の有効性があるのかについて聞きたいです。例えば、これまでに無いと思いますが、事業の評価を次年度の事業内容や予算にどのくらい反映されているのか示されてないような気がします。その点についてはどのように考えているのかお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>毎年度、委員の皆様から評価していただいた事業について、担当課も意見を聞いていることから、来年度の当初予算作成の際に、課内・部内で検討の上、予算要求をしています。そして、次年度の1回目の外部評価委員会で、フォローアップとして各課の予算要求の状況や、検討状況についても委員の皆様にお示ししております。</p> <p>しかし、今年度の委員の皆様からいただいた評価が予算に反映できるかどうかは、これからの議論になります。次年度に予算要求して、予算が可決された場合には、皆様にお伝えできる場があれば、その際にお示ししたいと考えております。</p>